

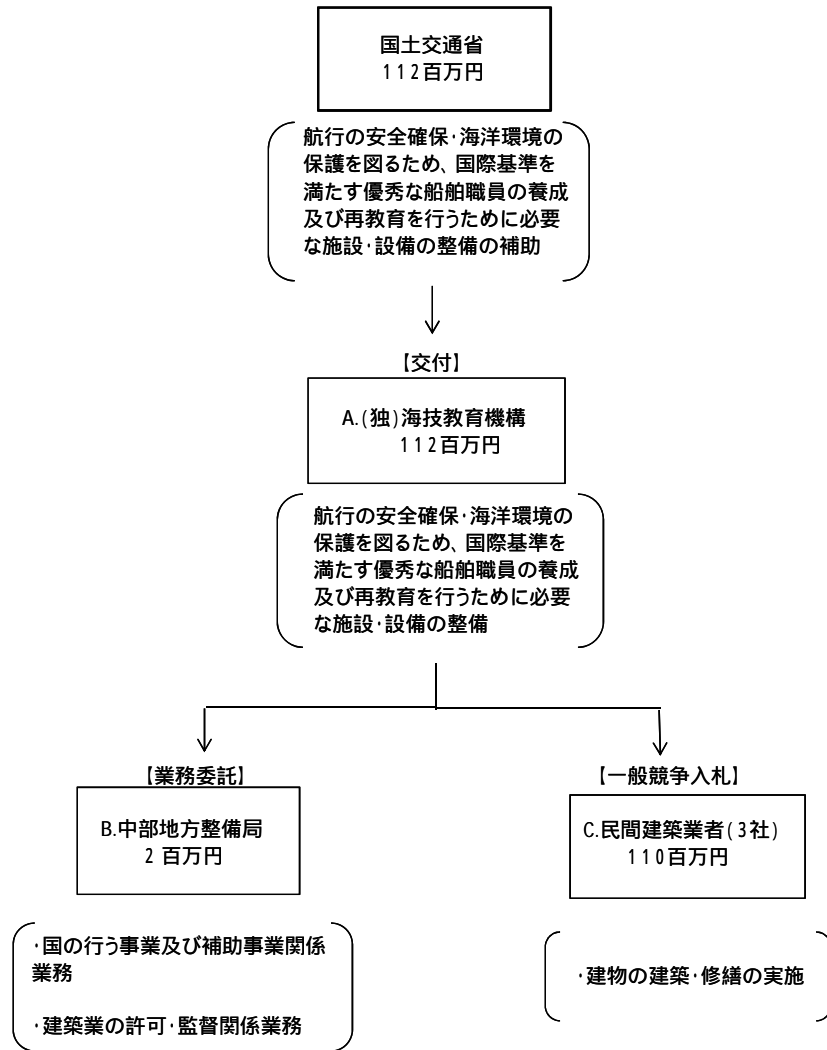
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	(独)海技教育機構施設整備費補助金		担当部局	海事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H20/H23		担当課室	海技課船員教育室		室長 金田章治		
会計区分	一般会計		施策名	9-39 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人海技教育機構法)		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	船員(船員であった者及び船員になろうとする者を含む。以下同じ。)に対する船舶の運航に関する学術及び技能の教授、船舶の運航に関する高度の学術及び技能に関する研究、並びにこれらに附帯する業務等を効率的に行うために必要な施設・設備の整備を行っている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立清水海上技術短期大学の技業棟は、築後40年が経過し老朽化が進み、電気容量、室内強度も十分でなく、大型の教材、特に電子機器を組み入れた最新の教材が導入出来ない等多くの問題点があったため、総合実習棟として建て替えるべく工事を進めてきている。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	107	71	112	112	-	
		補正予算	0	0	0	73		
		繰越し等	0	3	0	0		
	計	107	74	112	185	-		
	執行額	104	74	112				
執行率(%)	97.2	100	99.6					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	総合実習棟の建築工事であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
							()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	施設整備費	110		平成24年度には、施設整備を行わないため。				
	附帯事務費	2						
計	112							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>工事の実施状況等の管理・監督を適切に行い、効果的な予算の執行にさらに努めることとする。 なお、平成23年度第1次補正予算において、東日本大震災で被害を受けた宮古海上技術短期大学の教育施設等の復旧工事を行うこととしている。この施設は船員教育する上で必要不可欠なものであり、現在、同機構において調達手続きを進めているところである。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 工事の実施状況等の管理・監督を適切に行った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		引き続き、効果的な予算執行の観点から、工事の実施状況等の管理・監督を適切に行うべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
施設整備計画の見直しによる減。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



A.(独)海技教育機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	清水海上技術短期大学校総合実習棟建築工事	112			
計		112	計		0
B.国土交通省中部地方整備局			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
管理費	事務費	2			
計		2	計		0
C.木内建設(株)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	建設費	110			
計		110	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

C.民間建築業者

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	木内建設(株)	総合実習棟建築工事	108	-	-
2	(有)静建企画設計一級建築士事務所	総合実習棟建築工事管理業務	1	-	-
3	(株)柳澤孝彦タック建業研究所	総合実習棟建築工事設計業務	1	-	-
4		(中部地方整備局に業務委託)			
5					
6					
7					
8					
9					
10					